



大物をねらえ！

麦塚区で農業用水路を使ってマス釣り大会が行われました。毎年、子どもの日に合わせて開催されているもので、今年で36回目になります。参加者は、放流されたニジマスを次々と釣り上げ、1番大きなものは60cmもありました。大会終了後には水を張った田んぼで泥んこ遊びが行われ、子どもたちが大はしゃぎで遊んでいました。

(5月5日)



爽快な五月晴れの中 4,500人が力走！

富士裾野高原マラソン大会が行われました。北海道から鹿児島県まで、全国各地からランナーが集結しました。当日は富士山がくっきり見える五月晴れに恵まれました。

(5月11日)



四季折々の富士山、約40点を展示

富士山資料館でふるさと富士山ナイスアングル写真展を開催しています。静岡県側から撮影された様々な富士山の写真を展示しています。6月29日(日)まで開催しています。

(5月14日)



花や野菜の苗木が人気

中央公園で五竜みどりまつりが開催され、各種展示即売や餅&お菓子まきをはじめとしたステージイベントなど様々な催し物が行われました。苗木などの販売コーナーでは、花などのほかモロヘイヤやピーマン、キュウリなど野菜の苗を多くの方が買っていました。

(5月17日)



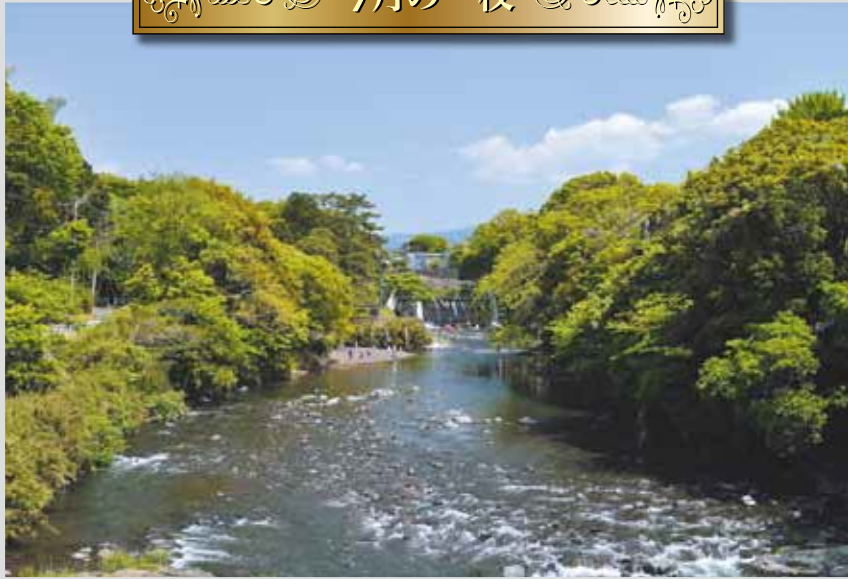
不二農園で中学生と小学生がお茶摘み

今年100周年を迎える不二聖心女子学院の不二農園で、西小3年生がお茶摘みを体験しました。106人の小学生は同学院の中学生から摘み方を教わり、小雨が降る中、約20kgの茶葉を収穫しました。

(5月21日)



今月の一枚



「新緑を泳ぐ」 撮影／重田 征紀^{せいき}（大畑）



県司法書士会と災害時の支援協定を締結

県司法書士会の西川会長と高村市長が、協定書に署名押印しました。被災地では、登記をはじめ様々な法律的な問題が解決しないため、復興事業が進んでいないこともあります。大災害が起こったときに、司法書士による相談活動が迅速に行えるよう支援協定を締結しました。（5月21日）



ユネスコからの世界遺産認定書のレプリカを展示

富士山の世界遺産認定書のレプリカが市に届き、6月13日(金)まで市役所に展示しました。認定書には、「富士山 信仰の対象と芸術の源泉」が世界遺産一覧表へ2013年6月26日に記載されたことが記されています。6月21日(土)からは富士山資料館で展示します。（5月29日）



義援金 70 万円を相馬市へ

当市と災害協定を結んでいる福島県相馬市の立谷市長に、市民の皆さんからの義援金 70 万円を手渡しました。立谷市長は裾野市民に感謝するとともに、「義援金は教育復興基金に積み立て、震災で親を亡くした子どもたちの奨学金などに使用させていただきます」と述べました。（5月22日）